

920m

11 林公民館

360m

ゴール
1 林小学校

総時間
約90分
総距離
約5.0km

スタート



1 林小学校

100m



2 歩道橋

10 分岐点

450m

9 分岐点

150m



ポイントINFO

【三角点】
精密な地図を作るための位置・高さの正確な基点。阿波町に存在している大切な地図作成の根本となる数少ない基線の1つ。

ポイントINFO

きたおかこふん
【北岡古墳(西古墳)】
昭和29年徳島県文化財指定。羨道部は修築され原型をかえているが三味線胴式玄室をもち天井石は持送り奥壁には、大きな鏡石を使った横穴式古墳。



8 北岡古墳(西古墳)

300m

7 分岐点

340m



6 交差点

350m



5 岩津橋



阿波市 阿波町
岩津の堤防コース
ウォーキングマップ

ポイントINFO

きたおかこふん
【北岡古墳(東古墳)】
昭和29年徳島県文化財指定。推定直径約15m、墳丘高約5mの円墳で羨道部入口は埋没している。羨道部に玄門を有しない両袖式の横穴式石室である。



ゴール

1 林小学校

スタート

2 林郵便局

ポイントINFO

【鎌保庵】
数百年の歴史をもつ四国・西国霊場で毎春恒例の農具市は鎌棒の市として有名である。



鎌保庵

30m

3 林郵便局

660m



4 分岐点

ポイントINFO

いわくもはなかなまずかひ
【岩雲花香 鯨の歌碑】
神代文字の歌碑。国学者 岩雲花香が、岩津の淵の鯨を詠んだ短歌を、下関で入手した花岡岩に彫らせ建立奉納したもの。



鯨の歌碑

岩津橋

吉野川

山川町

1200m - 岩津の堤防 -

⑤ 岩津橋 橋下の遊歩道への順路

順路 1



順路 2



順路 3



順路 4



順路 5



順路 6



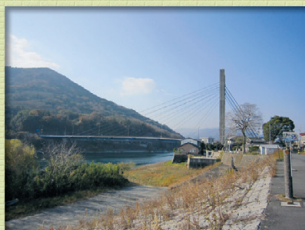
岩津橋 周辺の見どころ

⑤-1



◆手押し渡し舟から動力舟(ポンポン舟)になり、阿波から讃岐・西阿(撫養街道)への交通の要所として発展した。

⑤-2



◆舟橋が(明治20年)に造られ、初代吊り橋(昭和33年)が完成した。2代目(昭和46年)では自動車が通行可となり、現在の3代目(平成5年)2車線の斜張橋となる。

⑤-3



◆橋の下は遊歩道が整備され、風光明媚な景色を見ながら歩くことができる。

⑤-4



◆岩津の淵◆

◆岩津付近は緑色変岩(阿波の青石)で風光明媚な場所となっている。

⑤-5



◆うだつのある家◆

◆岩津の街は徳島本線の関わりにより水運の要所・宿場町として栄えた。

鯰の歌碑

◆岩津の淵の底に棲む大鯰を見たことはないが、一度波間に出て巨大な姿を見せてもらいたいものだ。(神代文字で彫られた短歌の口語訳)



岩津水位観測所

◆川の水位を測る観測所

岩津地点は吉野川の治水計画を考えるうえで、基準となる箇所であり、岩津水位観測所は、吉野川で最も重要な観測所である。

水位は、河川を管理する目的で常時観測されており、当地点では、明治16年(1883)に岩津橋の下流側で水位観測が開始され、水位塔での観測は昭和36年(1961)から平成12年(2000)まで行われた。現在は、水位塔の下流に設置された水位計で計測を行っている。

また、水位塔には、洪水時に住民の避難行動の目安となる「洪水予報」や、水防団に対して「水防警報」を発令するための基準となる高さに線が示されており、市民の安全を見守っている。



水位塔(写真手前)

西林村基線西端一等三角点

◆北岡古墳(東古墳)を通り過ぎ、北に向かって歩いて行くと、右折したところの田園の中に見える。

◆◆ 三角点 ◆◆

精密な地図を作るために各地に位置・高さの基点が必要であり、これを三角点という。西林村基線西端点は、明治20年(1887)に全国で4番目に設置された一等三角点で、四国の地図を作るために行った三角測量の原点で「四国地図測量の発祥地」と言われている。

※東端点は明治21年9月の吉野川の出水で埋没し、唯一、西端点のみが水田の脇に残っている。

